

# 京都口腔 健康センターNEWS

創刊号

発行日  
2017年2月20日

洛和会音羽病院 京都口腔健康センター 〒607-8062 京都市山科区音羽珍事町2 <http://www.rakuwa.or.jp/otowa/shinryoka/shika.html>  
お問い合わせ／洛和会音羽病院 地域連携課 TEL 075(593)7725 FAX 075(593)4160 E-mail otowa@rakuwa.or.jp 発行／医療法人社団洛和会 編集／アールプランニング 印刷／有限会社アクト

## 京都口腔健康センターのご紹介

洛和会音羽病院 京都口腔健康センターは口腔外科、京都顎変形症センター、歯科麻酔科から編成されており、あらゆる口腔外科疾患や全身管理を要する患者さまの歯科治療に対応可能な



体制を整えています。より一層、専門性の高い病院歯科に特化した診療を提供してまいります。健康な患者さまの一般歯科治療はかかりつけ歯科医院に紹介させていただきます。

洛和会音羽病院 口腔外科 部長 今井 裕一郎

## 診断力の向上を図るため

2016（平成28）年12月18日に京都府歯科医師会主催の“口腔がんスキルアップセミナー”が開催されました。

京都府歯科医師会 口腔保健センターにて、口腔粘膜疾患、口腔がんの診断力をアップされたい方を対象に講義と実習を6時間にわたり行いました。奈良県立医科大学口腔外科教授の桐田忠昭先生が“口腔がんの早期発見のために”を講演され、実習では洛和会音羽病院 口腔外科 部長 今井裕一郎、医員 高嶋森彦、医員 黒川聰司が講師となり、口腔がん早期発見のための視診、触診のポイント、蛍光観察器（ペルスコープ、イルミスキャン）を用いた診断の注意点などを共に学びました。

20人の方に参加いただき、盛況の内に終了しました。歯科衛生士および先生方のほとんどが、蛍



光観察器を初めて触れられるということもあり、講師陣の指導のもと、ペアになって、お互いの口腔内を蛍光観察器で見合いつつ、「なるほど！」と納得しながら真剣なまなざしが加わってゆくワークショップとなりました。

参加いただきました皆さん、誠にありがとうございました。



## 洛和会音羽病院 京都口腔健康センターでは 口腔がんの撲滅に取り組んでいます

口腔がんは早期発見が重要です！ 口腔がん検診を受診しましょう

### 口腔がんの特徴について

口腔がんは舌に発生することが最も多く（40～60%）、以下、上下の歯肉、口底、頬粘膜、口蓋の順で発生します。舌の中では、舌縁部が好発部位です。日本では今後、高齢化社会の進行とともに増加し、2017年は約10,000人が罹患するといわれています。早期がんの5年生存率は90%と良好ですが、進行がんでは50%と低く、また、治癒しても重い機能障害が残ることがあります。口腔がんは、視診で観察でき、触診可能であるのが大きな特徴です。初期の口腔がんでは痛みや出血はなく、白い病変あるいは赤い病変として認められ、硬結が触れることもあります。白斑は、単に義歯が強く接触して白くなっているものもあれば、「がん

化」する可能性のあるもの、すでに“がん”であることもあります。

#### 早期がんは症

状がない場合が多く、医療機関への受診が遅れ、診断が遅れることが多いのです。“がん”が大きくなると、発声困難、摂食嚥下障害、出血・悪臭を伴うようになります。さらに進行すると、頸部リンパ節に転移して、しこりを触れるようになります。

当院では口腔がん検診を行っておりますので、ぜひご活用ください。



### ベルスコープを導入しています

ベルスコープとは、口腔内を観察する蛍光観察装置です。400nm～460nmの青色光を照射して口腔内の情報をモニターに映し出し、口腔内粘膜に異常があるか観察します。2008（平成20）年に販売開始され、すでに欧米では医療機器として認可を受けており、スクリーニング機器として使用されています。

ベルスコープは、以下のようないくつかの口腔粘膜異常を観察するための優れた医療機器です。

- がん、前がん病変、前がん状態
- さまざまな原因によって引き



#### 起こされる炎症

- (扁平苔癬、金属アレルギーなど)
- 扁平上皮乳頭腫
- ウィルス、真菌、および細菌感染



口腔がんの検査は細胞診、組織診などさまざまありますが、それらと比較し非侵襲的であり、患者さまにほとんど負担をかけることなく検査を行うことが可能です。口腔がんにおいても、早期発見と早期治療がとても重要となります。洛和会音羽病院 口腔外科ではベルスコープを使用した視診、および触診、細胞診、画像検査を行っており、早期がんの発見に力を入れております。